

「臨床実習を乗り切るために」

令和2年度5年生が4年生に伝えたいこと(全回答者98人)

アンケート結果
について

全回答者の回答やコメントを掲載しています。内容を見ると、様々な考え方があることに気付くと思われま。真剣な回答もありますので、臨床実習を有意義に過ごすために役立ててください。

問1	臨床実習で良かったことを教えてください。	回答数
回答・コメント	実際に臨床の体験ができたこと。患者さんと触れ合えたこと。手技、オペ、検査や診察をみたり、問診できたこと。	25
	対面でできた科については机上での勉強よりも学べるが多かった。座学では学べないことをたくさん学べた。教科書で文字だけの所を、実際に使われてる所などを見ることができた。	15
	実際に手技に携われたこと。手技の練習もさせてもらえる。	8
	各科の仕事を生で見れる。実際の現場を知れた。現場の流れを知ることができた。	7
	座学よりも1つ1つの疾患が記憶に残りやすかった。座学よりも頭に入る。文字だけでは理解しづらい症状や検査も理解が進んだ。	6
	実際の患者さんを診ることで、疾患のイメージがついた。本の勉強で覚えられなかったり、イメージがわかなくても担当患者があてられたら覚えるし、忘れないこと。	4
	例年とは異なるオンラインでの実習が多かったが、先生方が講義形式を色々工夫してくださり、とても学びが深まった。オンラインでもわかりやすいよう計らってくれた。たくさん検査のシミュレーションを入れてくれた。	4
	実際に先生や働いている人と話すことで将来の自分の姿を想像しやすくなった。将来像が見えた。キャリアをイメージしやすい。	4
	座学で学んだことを実際に病院で学べた。知識の定着がより確実になることを実感した。	3
	先生方が献身的に教えて下さいました。熱心に指導して下さい、本当に有り難かった。	2
	楽しかった。先生方と話し、授業で感じていた疑問の解消、将来のこと、医療の流れを学ぶことができ、モチベーションにもつながった。	2
	実際に見ることでこれまでバラバラだった知識が点と点を結ぶようにつながっていくように感じることができた。	2
	先生方とのコミュニケーションも実習ならではの、だと思う。先生たちとつながることができる。先生や研修医の方と話せた。	2
	現場の雰囲気がわかり、勉強のモチベーションが高まった。	2
	実際に治療を見てまわり、つど先生に質問ができたこと。すぐに質問できる環境にあること。	2
	CBTの知識をより深められた。	1
	今まで習った知識を確認できたこと。	1
	オンラインでも自宅でするように縫合セットなど送って下さった科もあった。	1
	1-4年でアウトプットがあまりできていなかったが、5年で実際に患者さんをもつことで今までの勉強が役に立つなあとと思った。	1
	手術の見学で、先生方がどういう事を考えながら作業しているのか分かった。	1
	実臨床で、どのような優先順位がとられるのか、先生の思考を直接教えてもらえること。	1
	医者への雰囲気がかもしたせる。	1
	それぞれの科の疾患への理解が深まった。	1
	先生と話せて、先生もふつうの人間なんだと思った。	1
	勉強のモチベーションにもつながり、事実、5年間の中で一番勉強がはかどった。	1
	実際に自分が働く時をイメージしながら勉強できた。	1
	先生が優しくかった。	1
	実臨床における心がまえに初めて接することができた。	1
	講義ではわからなかった緊張感がたわってきた。	1
	患者さんとのお話の難しさや大切さを実感することができた。	1
	患者さんの率直な気持ちを聞くことができ、仲良くなれば先生に話せていなかったことも話してもらえて学生だからこそ力になれることもあったこと。	1
	リモートだったり時間制限があったのでゆとりがあった。	1
	班員が皆積極的で、いつも質問しやすい雰囲気があったので良かった。	1
	班員と仲が良かったがくつきすぎなかったこと。	1
	班のメンバーと仲良くなれた点。	1
	離島実習で地域のクリニックの先生に付いてその仕事ぶりなどを見れたことは、特に大学との比較ができて良かった。	1
	地域病院に行ってその役割を知ることができたことが良かった。	1
	モチベーションを高く保てた。毎日新しい発見があり、生活の充実感もあがった。	1
	実際の患者さんと接することで、より必要な検査が想像しやすくなり、また国試を解く上でも役に立った。	1
	多角的な見方ができるようになった。	1
	専門性の高い内容と一般的に必修な内容かどれがどれかわかった。	1
	あまり興味がなかった診療科でも知る事ができた。	1
	病院の設備を実際に見られたこと。	1
	手技、レポートの書き方等の実践的な知識も新しく学ぶことができた。	1

問 2 臨床実習で苦労したこと・悩んだことを教えてください。	回答数	
回答・コメント	患者さんとの接し方。問診。問診のとりかた。患者さんと何を話すか。患者さんから情報を引き出すこと。緊張した。内向的な患者さんとの接し方や言葉使い。医者嫌いの患者さんに問診に行くのはとてもやりにくかった。	9
	レポート。レポートに追われて実習に気がまわらないことがあった。レポートが終わらず睡眠時間がとれなかったこと。レポート作成に慣れない。レポートの完成度。	9
	朝起きること。外科の朝が早かったこと。早起きに慣れなかったこと。給料でないのに朝早くなかなか帰れないのはパワハラ。7:20 集合とか鬼。	8
	オンラインでの実習が難しかった。思うような実習ができなかったこと。オンラインで先生と直接話せない。実臨床をみれない。雰囲気わからない。学ぶことも限られ自学で補うのに苦労した。クリニックもできないと不安。	8
	オンライン実習はモチベーションがわかず苦労した。オンラインでのモチベーションの維持。1 日中家にいてモチベーションを保つのは非常に困難で、何かしらの病気になってもおかしくないと感じた。	6
	手術で長時間立ちっ放しで、腰を痛めたこと。オペ中にどうしても疲れがたまってくるのがあった。長くて内容もわからない手術に立ち会う時にただただ疲れた。術野に入れられないのにオペが長いときは苦行でしかない。長時間は体力的に大変だった。	6
	知識不足。症状から鑑別をあげたり、実際の次の手段を考えることが難しい。知識のアウトプットが全然できていない。基礎知識が抜けているとは勉強しなおさなければならなかったこと。	5
	オンラインやりすぎ。あまり身にならなかった。正直役に立たない。もっと現場でしか学べないことを学びたい。ビデオ見せるくらいだったら自分で勉強する。	4
	時間がなく自分の勉強ができないことがあった。勉強が間に合わない。自分の勉強時間の確保。国試の勉強との並行。	4
	ほぼオンラインだったので、回ってない科は知識が定着していない。オンラインで回ったところが内容が頭に入らなかった。	3
	レポートやプレゼンの準備。今までよりも量が多かった。症例発表、提出物の心理的負担。	3
	先生方に放置されてしまうとどのように立ちふるまえばよいのか分からない。先生が忙しそうときに放置されること。何をすべきかわからない時間が多かった。	3
	オンライン実習ばかりで勉強のペースが崩れてしまった。中々、自分のペースを作ることができずに最初苦労した。	2
	オンラインでは手技がなかなか出来ず今後が不安。	2
	予習をしていくのが大変だった。その診療科の予習をしておかないと、ついていけなくなる事があった。	2
	勉強の仕方。予習の仕方。	2
	診療科が 1 週間で切り換わること。1 週間の科は短い。	2
	コロナで検査とかを十分に見学することができなかった。	1
	終了時刻が明確でなく、夕方以降のアルバイトに支障をきたすことがあった。	1
	症例報告レポートの書き方、カルテの使い方をしっかり教わるタイミングがなく、苦労した。	1
	手術の内容がむずかしく理解できない。	1
	オンラインでの各科の対応にばらつきがあり苦労した。	1
	オンラインでの実習が思いのほか長く、レポートを書くにも図書館もあいておらず苦労した。	1
	オンラインの時にネット環境が悪かったりして授業がきこえなかったことが多かった。	1
	オンラインの退屈さをどうするか悩んだ。MEC などを見るのがいいと思う。	1
	学務と各科の連携が取れてなかった。	1
	科によってタイムスケジュールやタスクが違い、特に今回はコロナもあって変則的だったので、毎回それらに適應するのが大変だった。	1
	勉強不足を痛感しつつ、実習を乗り切るだけで体力的にきつかった。	1
	診察の方法について、合っているかわからず苦労した。	1
	最初に当てられる症例ごとで班の中でも学習量に差が出ていると感じた。	1
	手術では解剖が分かっていないと、内容が何も分からなくなる。	1
	手技をやるときの緊張感。	1
	プレゼンに慣れるまで。	1
	理不尽に怒れる。	1
	オンラインになった診療科では、学習の進みが遅れているように感じた。(国試の問題が解けない)	1
	学ぼうという姿勢があれば非常に学ぶことが多いが、気を抜いているとあっという間に臨床実習がおわってしまうということ。	1
	無遅刻、無欠勤。	1
	体力がなくて眠かったり寝坊した。	1
	カンファで発表すること。	1
	カンファレンスが長い。先生たちの声が小さく聞こえない。話の内容がわからない。	1
	画像の見方。	1
	電子カルテの場所や院内で自学するスペースが少なかった。	1
	カルテを使えないときがあったこと。	1
	教授陣とのコミュニケーションがとてもこわかった。	1
	先生の厳しい指導。	1

担当症例以外の疾患について勉強する時間を確保するのが難しい。	1
外科が長い。	1
手術中ひまな時がある。	1
班の雰囲気。	1
卒業した後に現場で、「君たちはコロナの世代だからね・・・。」と言われる気がしている。	1
臨床実習で体験できることは診療科のうちでも限られているので、ある程度自学が必要であること。	1
場所がわからず迷ったこと。	1
分からないことを先生に質問するタイミングが分からなかった。(手術のときとか)	1
先生や看護師さんの業務の邪魔にならないこと。	1

問 3 苦勞したこと・悩んだことがあった場合それをどのように解決しましたか?	回答数
回答・コメント	
班員と話し合った。班員に相談した。メンバーに話すなどして解決した。アドバイスをもらった。積極的にコミュニケーションをとる。	10
勉強する。メックとかで勉強した。長期休暇中に勉強する。周り、友達と勉強する。平日は疲れるので土日まとめて勉強する。友達と勉強会を zoom でやってみたり、すきま時間に色々勉強してみたり工夫した。	9
自分と同じ班員と協力することや、先生方、クリニックの先輩方にきいた。担当の先生、研修医の先生、先輩に聞く。必ず助けになってくださった。	8
指導医の先生に聞くように心がけた。アドバイス、訂正をいただいて徐々に改善した。先生に質問する。積極的に質問して、できるだけ早く解決するようにした。わからないときは早めに先生にきく。資料を貸して下さったり、別の診察をみせて下さったりと多くを学べた。	8
我慢した。耐える。耐え忍んだ。	5
オンラインは解決しようがない。あきらめる。どうしようもない。	5
メンタルで頑張る！頑張る。	4
経験。数をこなすうちに慣れた。時間が解決する。慣れる。	4
友達、班員にくちる。	2
早く寝た。	2
レポートは計画的にはじめた。早めにやってしまう。	2
場所などは人に聞いて探した。カルテが使えないとき他の科の病棟に行った。	2
患者さんにめげずに聞いたり、言い方を変えたりして、より良好なコミュニケーションを心がけた。雑談などをまぜて、あまり問診っぽくないようにした。	2
ぐるぐる。ネットや教科書で調べた。	2
ビデオ講座で対応。動画講義をみる。	2
国試の問題を解くなどして、モチベーションを保てるようにした。	2
家でできることは糸結びなど練習した。	1
夕方にバイト先に電話して謝罪する。	1
外科を将来の選択肢から外した。	1
なるべく手術内容を事前に予習する。	1
先生方の診察の様子を見て真似した。	1
前の土日には科の内容をざっと復習し毎日のレポートついでに復習するようにした。多少は解決になったと思う。	1
各診療科の実習が、できたら始まる前に動画等を用いて、予習した。	1
コロナ世代と言われないように、その分知識を少しでもつけるしかないと思い直す。	1
アンケートにぶちまける。	1
自分で解決した。	1
規則正しい生活をする。	1
体を動かしてリフレッシュしていた。	1
休むときはしっかり休んだ。	1
週末楽しむことを考える。	1
新しい趣味を探した。	1
食事量を増やしたりした。	1
長時間の手術のときは無理をしない程度に休憩をした。	1
レポートは、できるだけ先生に話を聞いて作った。	1
同じ班の人のレポートの良いところを参考にした。	1
問診を何度も聞きに行った。	1
余計なものには手を出さない。周りを見る。	1
できるだけ愛想笑いをするようにしてその場をきりぬけた。(教授陣とのコミュニケーション)	1
症例がきちんと理解できるまで質問する。	1
オンライン用に、2つ画面があると生産性が向上する。	1
時間を有効に使った。	1
班の中でレポートの進捗の確認や内容の共有を自主的に行った。	1
先に回っている班の友人と情報共有をして乗り切っていた。	1

論文を読めるだけ読んで頑張った。	1
聞きたいことや、シミュレーションをそれなりに事前に準備したり、あれも聞けばよかったと思うことも多かったが、それは次の日に聞いたりして毎日、足を運んだ。	1
問診で必ず聞くべきことと疾患ごとの聞くべきことを考えた。	1
それぞれの診療科ごとに何を学ぶべきかを考えながら実習にのぞんだ。	1

問 4 後輩のために、臨床実習に関するアドバイスをお願いします。	回答数
回答・コメント	
予習はしっかりした方がいいと思う。ローテーションする前にある程度予習した方がいい。予習して行った方がそれぞれの科への理解が深まる。より勉強になる。	13
頑張り。知識が身に付くいい機会なので頑張ってください。	9
積極的に参加すること。検査や手術など参加できるものは、積極的に参加するとよいと思う。学べることも多い。自分が積極性を示す分だけ先生方も熱心に教えて下さると思う。してみたいことや興味があることは積極的にアピールして伝えるべきである。言ったもの勝ちなところはあり、とても勉強になる。	8
生活習慣を整えると良い。(早寝早起き)早寝早起きが大事。リズムがつくれる。	6
先生にどんどん質問したほうが、より良い実習になると思う。分からないと思ったことはどんなに細かいことでも質問した方がいい。少しでも質問すると先生と良い関係が築きやすい。	3
まず班員と協力し合うこと。わからないことは、わかる先輩、先生にきくこと。実際に先輩に聞くこと！何でもいいから聞く方がいい。	2
多く患者さんと話してください。患者と接する時間を積極的に作ると思う。	2
班員を大事に。班員のみんなと仲良く。	2
楽しむのが一番大切だと思う。すぐに慣れるので、毎日楽しんで実習していいと思う。	2
CBT はちゃんと勉強したほうがよい。外科で解剖の知識を問われると、CBT で手薄であったことで戸惑うので軽く復習しておくとうい。	2
休めるときに休む。	1
手を抜く所は抜いた方がいい。	1
睡眠をしっかりをとること。	1
楽しくメリハリをつけて頑張ってください。	1
しっかり寝てしっかり食べて休まないこと！	1
朝ご飯は食べて行くべき。(特に外科のとき)	1
国試対策。映像講義は速やかにお知らせ。	1
帰っていい雰囲気を見定める。	1
ポリクリの最低目標は、それぞれの診療科の基本を知ることなので気楽に楽しんだらいいと思う。(もちろん頑張る人は、良く指導して下さい。)	1
たくさんカルテをみよう。	1
とにかく貴重な機会なので、休まずにがんばって。同じ班の人に迷惑をかけないように。	1
困った時は Google。	1
全然わからないと落ち込むかもしれませんが、大体皆そうだし、臨床実習でけっこう知識が定着するので安心して日々の勉強を頑張ってください。	1
各診療科の実習で、教科書・iPad 等を持って行くと、すぐに調べることができて便利だと思う。	1
オンラインでなければ良いですね。	1
最初を乗り切れば大丈夫。	1
どうせやるのであれば真剣にやった方が実になると思う。	1
5 年生の間は知識も大切だけど、医師の仕事内容や先生の働き方を知ること大切だと思う。	1
最初は慣れるまでに苦労するし、慣れると惰性が出てくるので初心を忘れないことが大事だと思った。	1
放置された時間を有効に使おう。	1
外科実習の前はガウンテクニックの確認をする。	1
コロナが収まることを願って下さい。	1
発表、レポートに早く慣れると後半の実習が楽になるし、今後も役に立つ。	1
積極的に質問しよう。先生の名前を覚えよう。名前を覚えてもらおう。	1
先生をあきれさせないようにしよう。	1
いつのまにか終わった。	1
沈黙するより積極的に質問して気まずい場面をのりこえると良いと思う。	1
サブモニターは買しましょう。(zoom のときは)	1
オンラインになったとしても、自分をしっかり保って出来ることに沢山チャレンジして下さい。	1
患者さんと仲良くなって話し相手になることで、患者さんをリラックスさせたり、患者さんの考えをきくことが大切なのかなと思う。	1
授業めんどくさいなーと思っていた人たちも、実習は楽しいし学ぶ姿勢をもって取り組んでほしい。	1
自分が実際の医師になったつもりで患者さんのことを見ると、臨床的なことを沢山学べると思う。	1
対面でできるときにできるだけ多くのことを吸収できるように自らすすんで学ぶようにしよう。	1

先生に質問された時は、とりあえず分からなくても何か答える！間違えても覚えるし、先生にやる気あると思ってもらえる！	1
院内に入ったばかりの頃は立ち振る舞いに戸惑うが、礼儀を忘れなければ少し図々しく質問や希望を伝えた方が、楽しい実習になる。	1
クオリティ上げるもサボるも自分次第。いつオンラインになるかわからないので、やれるときがんばろう。	1
空き時間も結構あるので、自分の勉強などで上手く活用して欲しい。	1